

福島第二原子力発電所 4号機 原子炉格納容器圧力抑制室内の点検の完了について

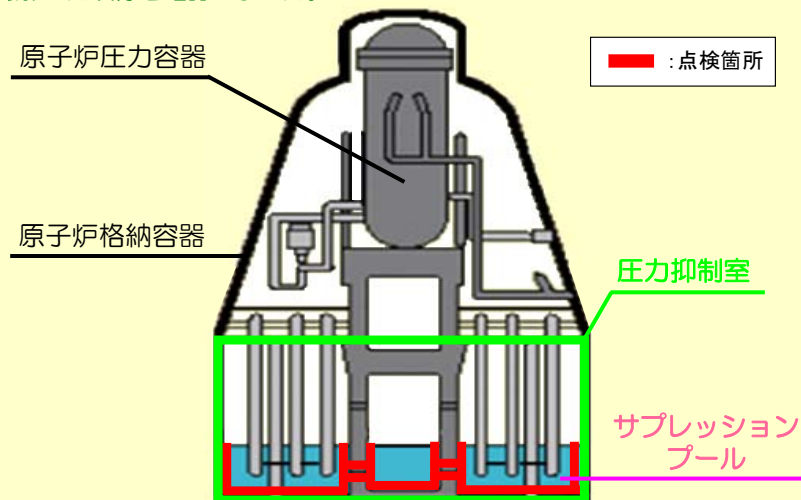
【参考資料】
平成26年2月24日
東京電力株式会社

当所4号機は、本年1月20日より、圧力抑制室内のサプレッションプール水中の壁面と床面の全面を対象に、水中カメラを用いた目視点検を実施していましたが、2月21日に点検が完了しました。

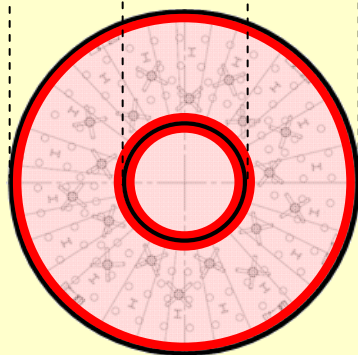
点検の結果、同室内の壁面と床面に塗装の剥離が認められたことから、塗装補修を実施しました。なお、これによる同室の機能や設備への影響はありません。

○点検範囲および点検結果(写真)

ダイバーが水中カメラで点検対象箇所を撮影し、当社監理員がモニターで撮影した映像を確認しました。



原子炉格納容器断面図(概略図)



圧力抑制室底面図(概略図)

～塗装の剥離が確認された箇所について、塗装補修を実施しました～



圧力抑制室内の壁面
(平成26年2月11日撮影)



塗装補修後
(平成26年2月11日撮影)



圧力抑制室内の床面
(平成26年2月3日撮影)



塗装補修後
(平成26年2月19日撮影)

【参考】

- 今回の圧力抑制室内点検にてナット1個を回収しました。
(平成26年2月7日 当社ホームページ掲載)
- 圧力抑制室の機能や設備への影響はありません。
- ナットが混入した原因と対策については、今後取りまとめお知らせします。

